

事業名	両毛救急医療圏二次救急医療参画事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課		款	4	新規or継続	継続事業
	係	地域医療係		項	1	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	312	事業期間	目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	3		開始年度	S54	実施方法	直営
	政策	1		終了年度	-	事業分類	支援事業
	施策	2					
		名称					
		根拠法令、条例等					
		両毛救急医療圏病院群輪番制病院運営費補助金及び小児救急医療支援事業運営費補助金交付要領 等					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	二次救急医療及び小児二次救急医療を担っている病院群輪番制病院に対し、運営等の支援を行う。 また、病院群輪番制病院以外で救急搬送受入れ数が年250件以上の医療機関に対し、支援を行う。 なお、事務局は佐野市と足利市で2年交代で実施し、R2～3は佐野市、R4～5は足利市が事務局となる。（事務局となる場合は、事業名は推進事業、予算科目は補助金、事務局でない場合は、事業名は参画事業、予算科目は負担金となる）
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市民の救急時における医療不安を解消させ、二次救急医療病院群輪番制病院及び救急搬送受入れ規定該当の二次救急医療機関の救急医療体制を円滑に行う。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		二次救急医療が受けられる安足地域の医療機関数	箇所	3	4	4	4	4

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	<市の活動> 事務局である足利市へ負担金を支出。 <団体の活動> 輪番方式により、休日・夜間等における救急車等による直接搬送またはかかりつけの診療所など初期救急医療機関から搬送されてくる重傷救急患者の治療を行った。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		病院群輪番制病院救急患者数(年間)	人	7,005	7,693	8,401
		規定医療機関救急搬送受入れ数(年間)	件	837	1,198	1,121
		事業費計	千円	78,275	16,044	16,190
		一般財源	千円	19,233	16,044	16,190
		特定財源（国・県・他）	千円	59,042		
		(うち受益者負担)	千円			

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	市民の医療不安解消のため、「二次救急医療が受けられる医療機関数」の病院数の維持できるよう支援をした。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		二次救急医療が受けられる安足地域の医療機関数	箇所	3	4	4	値が大きいほど良い	効果は変わらない

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標		費用の増減無し			
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した		○	
	指標全体	効果は変わらない					

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

救急患者を受け入れる病院数を一定数確保し続けることで、緊急時の市民の安心へ繋がっていくので、引き続きこの事業を継続していきたい。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

事業名	佐野休日・夜間緊急診療所運営支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1．基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課	佐野休日・夜間緊急診療所		款	4	新規or継続	継続事業
	係	地域医療係	運営支援事業		項	1	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	312	名称	事業 期間	目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		開始年度	S50	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり		終了年度	-	事業分類	支援事業
	施策	2	地域医療体制の充実					

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	休日及び夜間における市民の医療不安の解消を図るため、休日及び夜間における急患の診療を行っている「佐野休日・夜間緊急診療所」の運営を支援する。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	休日及び夜間における市民の医療不安の解消を図るため、診療所開設の運営支援をする。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		診療所開設日数（休日）	日	70	70	71	71	70
		診療所開設日数（夜間）	日	365	365	366	365	365

（3）目標値

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	<市の活動> 休日・夜間緊急診療所を運営する佐野市医師会に補助金を交付した。 <診療所の活動> 休日及び夜間に来所した手術や入院治療を必要としない怪我や病気の患者の治療を行った。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		休日における1日当たりの受診者数	人	34	65.5	86.7
		夜間における1日当たりの受診者数	人	6	10.7	15.5
		事業費計	千円	32,000	32,000	32,000
		一般財源	千円	25,951	27,453	25,921
		特定財源（国・県・他）	千円	6,049	4,547	6,079
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	休日及び夜間における市民の医療不安の解消を図るため、診療所開設の運営支援をした。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		診療所開設日数（休日）	日	70	70	71	値が大きいほど良い	効果が上がった
		診療所開設日数（夜間）	日	365	365	366	値が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用は下がった	※ 10万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	2指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用は下がった 費用の増減無し 費用が増加した		
	効果が下がった指標数	0指標				
	指標全体	効果が上がった				

4．次年度に向けた検討

（1）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

コロナ禍であったR3、R4とは異なり、診療所を利用する人が大幅に増加したが、佐野市医師会の尽力により、1年を通して休日及び夜間の診療所の開設を行うことができた。 なお、診療する医師の高齢化が課題となっている。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明

事業名	佐野休日歯科診療所運営支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1．基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課		佐野休日歯科診療所運営支		款	4	新規or継続	継続事業
	係	地域医療係		援事業		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	312	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり			開始年度	S54	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	-	事業分類	支援事業
	施策	2	地域医療体制の充実						

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	休日における歯科診療の不安を解消するため、休日に診療を行う「佐野休日歯科診療所」の運営を支援する。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し 遂げたい 状態)	休日における歯科診療の不安を解消するため、診療所開設の運営を支援をする。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		年間診療所開設日数	日	73	72	73	74	75

（3）目標値

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に 行った主な活 動内容)	<市の活動> 佐野休日歯科診療所を運営する佐野歯科医師会に交付金を交付した。 <診療所の活動> 休日における応急的な治療を要する患者の治療を行った。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		1日当たりの受診者数	人	1.5	1.5	1.8
		事業費計	千円	4,000	4,000	4,000
		一般財源	千円	4,000	4,000	4,000
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	休日における歯科診療の不安を解消するため、診療所開設の運営を支援した。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		年間診療所開設日数	日	73	72	73	値が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の 指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標				
	効果が下がった指標数	0指標				
	指標全体	効果が上がった				

費用	費用は下がった		
	費用の増減無し	○	
	費用が増加した		

4．次年度に向けた検討

（1）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

コロナ禍であったR3、R4とは異なり、R5は診療所を利用する人が増加した。この結果より、休日における歯科診療の需要があるということが確認できたため、継続して運営支援を行っていきたい。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

取組説明	
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	